

⑦ 名古屋港（愛知県名古屋市）

平成 25 年は、セイヨウナタネ 340,124t 及び飼料用トウモロコシ 646,276t を陸揚げ。主な輸入先国は、セイヨウナタネはカナダ及び豪州、飼料用トウモロコシは米国、ブラジル及びアルゼンチンなど。

遺伝子組換えセイヨウナタネの生育は、図 13 のとおり、陸揚げ地点から 5km 圏内の道路沿いで確認された。複数年度に渡って生育が確認された地点と単年度のみ生育が確認された地点とがあった。また、図 14 のとおり、生育群落数は陸揚げ地点からの距離に応じ多くなる年度があったが、平成 24 年度生育群落数が最多となった 1-3km の範囲で平成 25 年度は生育が確認されなかった。なお、遺伝子組換えでないセイヨウナタネ、在来ナタネ及びカラシナの生育は、陸揚げ地点から 1-5km の範囲で確認された

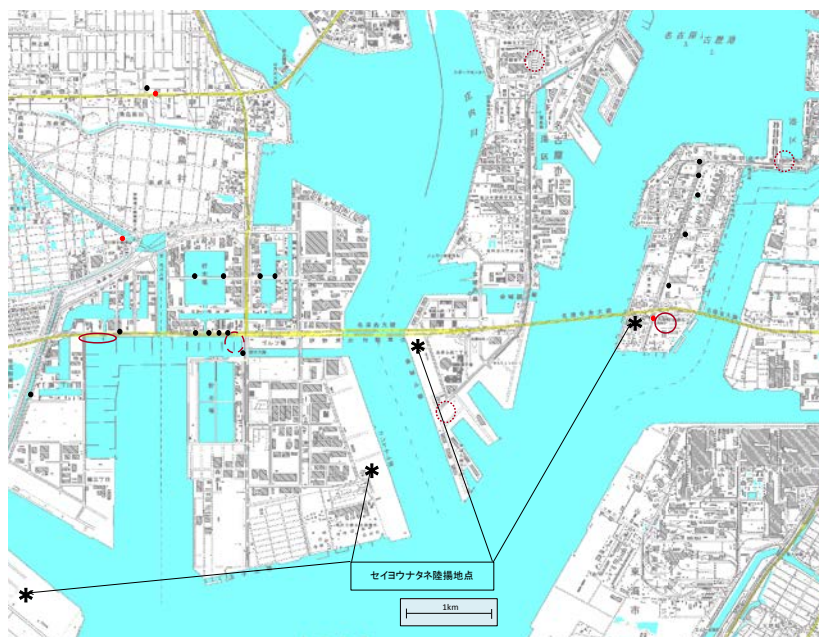


図 13 H21-25 のセイヨウナタネ生育地点

記号	採取内容(数字は地点番号)
●	H25年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
●	H25年度非遺伝子組換えセイヨウナタネ
—	H24年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
---	H21～23年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
...	H18～20年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
*	セイヨウナタネの陸揚げ地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 情複、第 100 号）

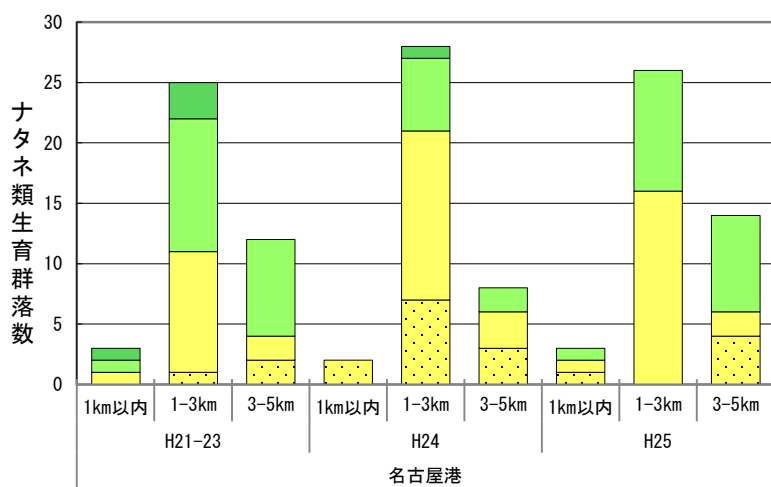
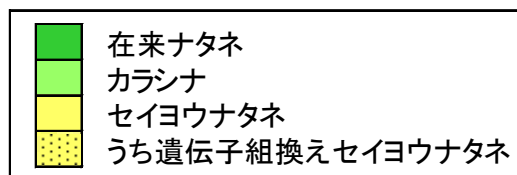


図 14 距離別ナタネ類生育群落数

※各年とも、左から陸揚げ地点から 1km 圏内、1km から 3km 圏内、3km から 5km 圏内を示す。

H21-23 は平成 21 年度から 23 年度の平均値。



⑧ 四日市港（三重県四日市市）

平成 25 年は、セイヨウナタネ 85,189t 及び飼料用トウモロコシ 2,290t を陸揚げ。これらの主な輸入先国は、セイヨウナタネはカナダ、飼料用トウモロコシは米国（財務省貿易統計）。

遺伝子組換えセイヨウナタネの生育は、図 15 のとおり、陸揚げ地点から 5km 圏内の道路沿いで確認された。複数年度に渡って生育が確認された地点と単年度のみ生育が確認された地点とがあった。また、図 16 のとおり、生育が確認される頻度は陸揚げ地点から 1-3km の範囲で高くなったが、生育群落数の年度間差は認められなかった。なお、遺伝子組換えでないセイヨウナタネ、在来ナタネ及びカラシナの生育は、陸揚げ地点から 5km の範囲で確認された。

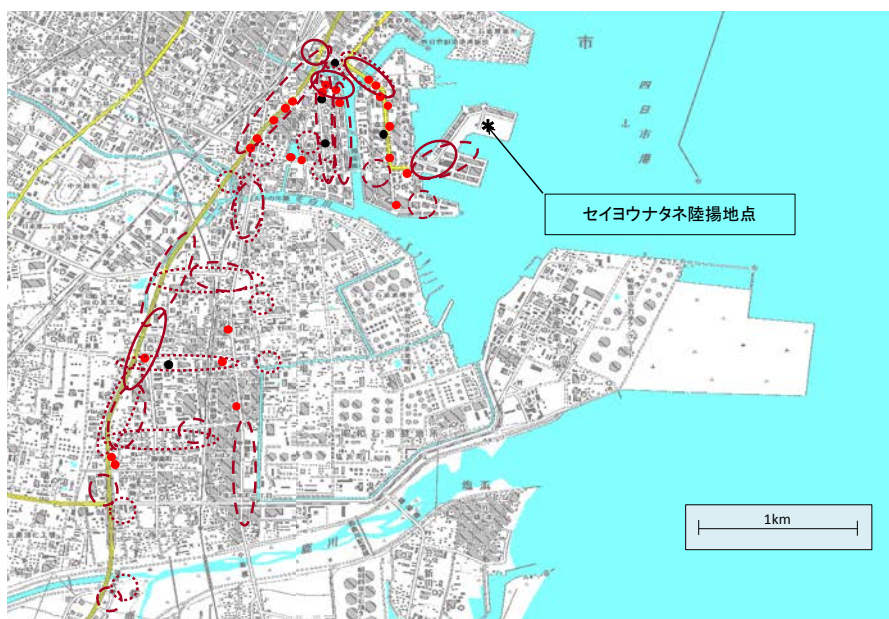


図 15 H21-25 のセイヨウナタネ生育地点

記号	採取内容(数字は地点番号)
●	H25年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
●	H25年度非遺伝子組換えセイヨウナタネ
—	H24年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
---	H21～23年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
...	H18～20年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
*	セイヨウナタネの陸揚げ地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 情複、第 100 号）

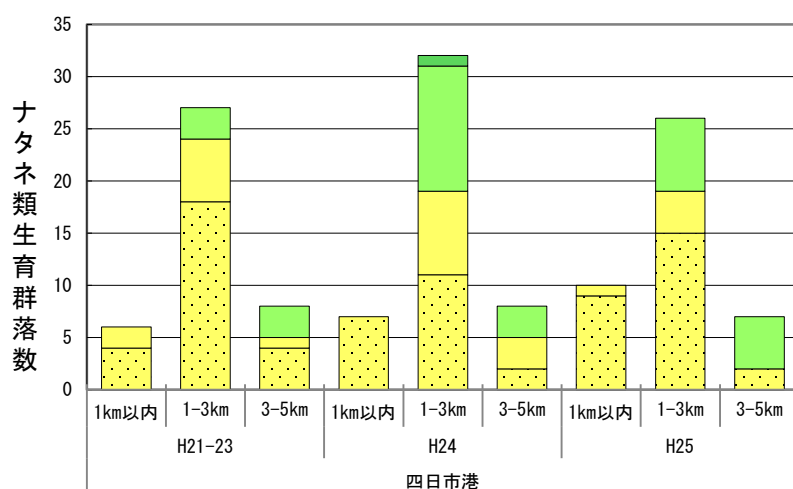


図 16 距離別ナタネ類生育群落数

※各年とも、左から陸揚げ地点から 1km 圏内、1km から 3km 圏内、3km から 5km 圏内を示す。

H21-23 は平成 21 年度から 23 年度の平均値。

■	在来ナタネ
■	カラシナ
■	セイヨウナタネ
■	うち遺伝子組換えセイヨウナタネ

⑨ 大阪港（大阪府大阪市）

セイヨウナタネ 6,076t を陸揚げ。輸入先国は豪州（平成 25 年財務省貿易統計）。

大阪港では、平成 18 年度の調査開始以降、遺伝子組換えセイヨウナタネの生育は確認されていない。

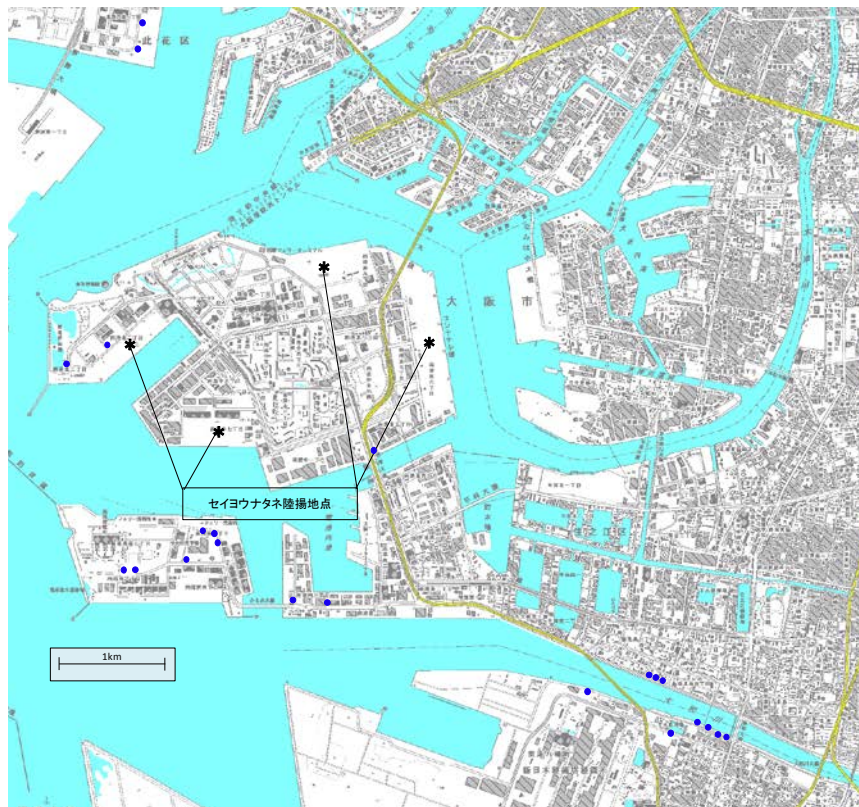


図 17 H21-25 のセイヨウナタネ生育地点

記号	採取内容(数字は地点番号)
●	平成25年度カラシナ
*	セイヨウナタネの陸揚地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 情複、第 100 号）

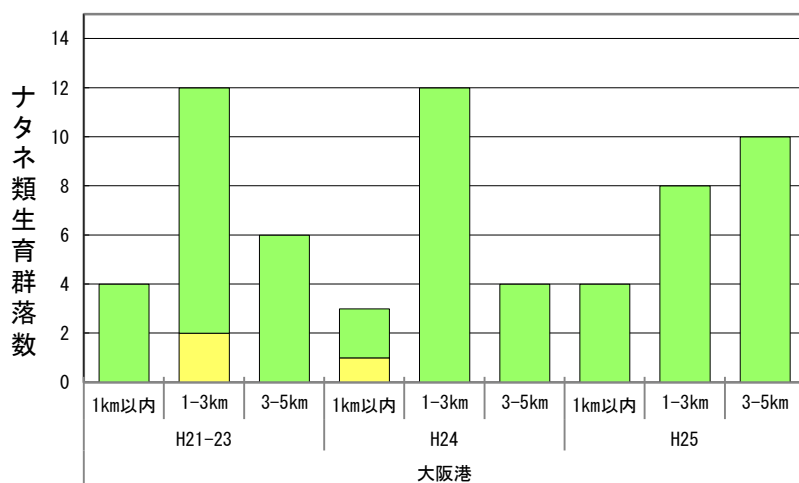


図 18 距離別ナタネ類生育群落数

※各年とも、左から陸揚げ地点から 1km 圏内、1km から 3km 圏内、3km から 5km 圏内を示す。

H21-23 は平成 21 年度から 23 年度の平均値。

